

授業科目名	社会学	担当教員	山室 敦嗣
必修の区分	選択		
単位数	1単位		
授業の方法	講義		
開講年次	1・2年 第2クォーター		
講義内容	<p>本講座では、社会学とは何かについて多面的な考察を行う。社会は、われわれが日常接する集団や組織、あるいはもっと小さな人間関係などからも形成されている。社会学とは、こういった組織や集団を研究対象とし、その仕組みやはたらき（システム）を理解する学問である。本講座では前半でシステム理論の基礎概念を学ぶ。後半では、それらを踏まえて、「近代社会の全体性の把握」をテーマに、より広範な社会的なものを見方を学ぶ。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「社会」とはなにか、「社会学」とはどのような学問かを理解する。 2. 社会システム理論の基礎的な概念を学び、社会をシステムの側から読み解く視点を得る。 3. 「近代社会の全体性の把握」、すなわち部分の総和として全体を考えるのではなく、社会を一つの有機体としてとらえる視点を身に着ける。 4. 宗教、政治、法など、社会を構成し制御する様々なシステムについての基本的な概念を身につける。 		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会とは何か 2 社会学の使い方 3 社会の発見（エミール・デュルケーム） 4 相互行為としての社会（ゲオルク・ジンメル） 5 合理化の逆説（マックス・ウェーバー） 6 システムとは何か 7 意味構成システムとしての社会 8 様々な機能システムについて① 9 様々な機能システムについて② 10 リスク社会 11 リスク回避システム 12 全体のまとめ 		
事前・事後学習	事前学習用と事後学習用の資料を配布するので、それを読むこと。		
テキスト	なし		
参考文献	『社会学の方法』佐藤俊樹，2011年，ミネルヴァ書房。 『社会学史』大澤真幸，2019年，講談社。		
成績評価の基準	各授業の終了後に提出するレポート（70%）、授業態度などの平常点（30%）によって評価する。		
履修上の注意 履修要件	なし		
実践的教育	該当しない。		
備考欄	なし		